



新年の抱負を語った渡会氏(東海日日新聞社で)

### 三遠南信連携重要に

### 成功させたい東三河県庁

語る  
東三河  
県本

公明党県議会議員の渡会克明氏(59)が「豊橋市選挙区」が3日、新年のあいさつに東海日日新聞社を訪れ、産業・雇用

対策や福祉・教育施策に力を入れていく考えを示した。今年、年男の渡会氏。「昇り竜、緑起がいい」と新年に期

待を込める。

東日本大震災で、多くの若者が被災地でボランティア活動を行ったことに触れ、「これが日本の精神文化になっていけば社会が変わると思う」。その上で「そういう若い人た

ちの気持ちを大切にしたい。政治は、彼らが頑張れるようにシステムをきちっと作らないといけない」と、国も含めた政治の役割を強調した。

4月に開設される東三河県庁には「何とかいい形で成功させたい。住んでいる人ももうかればいい」と期待を込めた。

東三河を「高いポテンシャルを持つ地域。ここが頑張れば県全体が浮上する。力を引き出す施策をやらないといけない」とする一方、「もう東三河だけでは相手にされない」とも指摘。今後は道州制も視野に、三遠南信連携が重要になるとの見通しを示した。

(中嶋真吾)